

エンカウンター (ENCOUNTER)

第 2 5 1 号

2023 年 3 月 1 日

編集・発行人 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西 2-14-28 山口周三

電話 080-1232-0905

<http://encounter.agape.wjg.jp>

小西芳之助導源先生「コリント人への第 2 の手紙講解説教」より (7)

愛の精神

コリントの教会では、信仰、神学、伝道については熱心であるが、本当に神の恵みが分かっているため、理屈を言っているが、人のための施しの精神、愛の精神を実行できませんでした。これは、コリントの教会だけではなく、我々、信者にとっても、注意する必要があります。我々は、5 年、10 年教会に来ていたら、信仰が分かっているかの如く誤解しています。信仰というものは、5 年や 10 年で分かるものではありません。我々は信者顔をすることを慎まねばなりません。その証拠に、いよいよになったら、信仰の実がないのに気付きます。実がないのは、信仰がないことです。信仰から出て来る、人に対する施しとか同情が無かったら、いくら聖書を勉強しても、讚美歌を上手に歌っても、大したことではありません。聖書の知識はあまり多くない方がよい。少し知って、少し実行した方がよろしい。昔から「論語読みの論語知らず」という言葉があ

ります。論語を人に講義しても、「仁」の精神が実行できなければ駄目です。

我々であれば、コリントの教会の人々に対して、「君たちは、信仰とか、伝道とかをやかましく言っているが、この施しの愛の精神が欠けていては駄目ではないか」と言うところですが、パウロはそう言わずに、彼らに愛の精神を引き起こすように、極めて上手に勧めています。どうぞ皆さん、このパウロの賢明さをここで学んで欲しいと思います。これは、親が子を教える時に非常に良いと思います。

義 務

「こう言っても、わたしは命令するのではない。ただ、他の人たちの熱情によって、あなたがたの愛の純真さをためそうとするのである。」(コリントⅡ 8:8)

施しをやれと命令しているのではない。マケドニアの教会においては、施しに対して非常な熱情を示している。君達の愛が本物であるか偽物であるかを試す機会となるから、これに富んで欲しいと言っているのである、と言っています。命令ではなく、勧めです。命令よりも期待する方が大きな力となる場合があります。私が子供のころ、日露戦争がありました。その時の日本海海戦で、東郷司令長官は、「皇国の興廃、この一戦にあり、各員一層奮励努力すべし」と言いました。これは命令でしょう。一方、トラファルガーの海戦で、英国のネルソンは「England expects every man to do his duty.」と申しました。即ち、英国は、命令ではなく期待すると言いました。私は、個人の人格がだんだんと磨かれてくると、どうもこの「義務」というものが大きく出て来るように思います。…今や日本は、無宗教、無道徳時代です。日本も皇国の興廃から、各人の義務を尽くす方へ移って行きつつあるのではなかろうかと思いますが、…しかし、根本の義務については、誰も、学校でも教えません。「duty」という字は日本語には訳しにくい字です。辞書で引くと、一つの意味に「moral obligation」と書いてありました。道徳的義務」という意味です。

ひらめきは、実行しなければ消える

「そこで、わたしは、この恵みのわざについて意見を宣べよう。それがあなたがたの益になるからである。あなたがたはこの事を、昨年以来、他に先んじて実行したばかりでなく、それを願っていた。だから今、それをやりとげなさい。あなたがたが心から願っているように、持っているところに応じて、それをやりとげなさい。」(コリントⅡ 8.10-11)

[コリント前書 8 章 10 節の] この恵みのわざとは献金の事です。この献金のわざについて意見を述べよう、と。命令でなく、意見を述べています。「あなた方の益になる」という字は注目に値します。献金をすれば、お金が減りますから損ですが、それが君たちの益になると言う。原語では「ヘルプ (助ける)」という字です。君達を助けることになる。実行しかけているのだから、自分の持っているものに応じてそれをやり遂げよ、と勧めています。どんなひらめきが頭に浮かんでも、それを実行しなければ、それは消えてしまいます。我々も、たまには良い考えが浮かぶかもしれませんが、しかし、それをなかなか実行しない。偉い人はそうではない。そのひらめきを終生心に抱いて、持っています。パウロは、「昨年は献金しようと思ったが、君達の熱心消えてしまっているのではないか、何をしているのか」とは責めておりません。「昨年実行したのだから、力に応じてやり遂げよ」と勧めています。これはタクトフルな(手際よい) 勧めであります。

人の生命というものは、持ち物の多きによらない

イエス・キリストは、「人の生命というものは、持ち物の多きによらない」と言われました。「よらない」というよりも「A man' s life does not consist in the abundance of his possessions.」（彼の持ち物の多いということから構成されていない。）という意味です。この英訳の方が原語に近いと思います。我々は持ち物さえ増やしたらよいと思っていますが、持ち物が増えたからといって、人間の生命はアバンダント（豊富）にはなりません。それは金持ちが一番よく知っています。お金を積んでも、人のために働くという精神は起こって来ません。今や、マルクスの思想がもてはやされていますけれども、百年、二百年先は分かりません。物さえ増やしたら人類が幸福であるというのは、聖書的原理から見て批判すべきことであると思います。本当の富というものは、生命を豊かにするものです。我々の生活に生命を与えるものであります。諸君はこの聖書の富を知っていますか。そして、この霊の富が我々のものになった時に、その富の一部分に施しの精神があります。この施しの精神がある時に、我々は献金が可能となります。

10年後の感想——世界の数人の大学者に学んだ

私、10年前に勉強したノートを読みまして、私が諸君に勧めたいことは、やはり、自分に与えられたことは一生懸命にやったらよいということです。私は10年前には、今日のところを勉強するのが義務でしたので、それを丹念にやりました。私は、10年前、この場所を1週間かけて勉強させて頂いたことを感謝します。そして、世界の数人の大学者から教えてもらいました。これは私の意見ではありません。世界の大学者の説です。私は、それを受けて話したに過ぎません。今、聞いてもちっとも恥ずかしくありません。どこをとってもピリッとしています。我々の精神に訴えます。

特に、この中には、キリスト教の救いが出ています。この世で善行が出来たり、他人を慰めてみたりする社会事業をもって、私達は愛とっていますが、そんなものはこの世の人でも出来ます。「キリスト教独自の愛」というものは、キリストが天に持っておられた宝を捨てて、人間の姿を取り、人間に無限の宝を与えるために地上に来られたことであります。その「無限の富」を知らずして、献金は出来ません。我々献金が出来ないということは、その富が分かっていないことになります。信仰が分かっていないことになります。

本日の場所は、コリント教会の人々に向かって、君たちは信仰、信仰と言っているが、全然分かっていないではないか、私の説く真の福音を知って欲しいと言っているのであります。

救われるのはひとえに、イエス・キリストの贖いによる

救いの信仰、贖いの信仰というものについて、我々は、自分の考えを交えまして非常に難しくしております。救われるのは、ひとえに、イエス・キリストの贖いによっておりまして、人間側の条件は無条件。神側の贖いの条件で我々は救われる。このように理解することを、「信仰によって救われる」というのであります。何か我々の救いを完成するためには信仰が必要であると、信仰と贖いの2本立てになり、「信仰のみで救われる」と訳したルッターの精神が、信仰だけが救いの条件に必要であると誤解されまして、私は信仰が薄いから救われないなどと言いがちです。これは、信仰の受け方が間違っているためであります。贖いを信じて救われる。贖いで十分なのであります。贖いを信じて救われると信じる、のではありません。信仰の客体の中に信仰という字を入れてはいけません。入れると難しくなり、何十年経っても信仰が確立しません。我々、人間の考えを振り回して、救いを難しくしています。

「主よ、このままに救いたまえ」という讃美歌(511番)を入れておきました。

見許しあらずば ほろぶべきこの身、

わが主よ、あわれみ 救い給え。

イエスキミよ、このままに、

我をこのままに 救い給え。

テトスと一緒に、一人の兄弟を送る

わたしたちはまた、テトスと一緒に、ひとりの兄弟を送る。この兄弟が福音宣伝の上で得たほまれは。すべての教会に聞こえているが、そのうえ、彼は、主ご自身の栄光があらわれるため、また、わたしの行為を示すために、骨を折って贈り物を集めているわたしたちの同伴者として、諸教会から選ばれたのである。(コリントⅡ 8・18-19)

第2の使者である、この一人の兄弟が誰であるか、学者は論じておりますが、分かりません。しかし、ルカであるという説が有力であります。この兄弟は、マケドニアのすべての教会に福音宣伝のことにおいてよく知られている。彼は諸教会から選ばれた者である。選ばれた目的は、「主ご自身の栄光が現れるため」、「わたしたちの好意を示すためである」である、と読めばわかります。原語は「わたしたちの行為を示すために」となっておりますが、これを「汝らの行為を示すため」と訳し、貧乏なエルサレムの信者に対して、君たちの愛の行為を現すため、即ち、献金を受け取るために選ばれたのである、という学者もあります。

第3の使者

「また、もうひとりの兄弟を彼らと一緒に送る。わたしたちは、多くの事について彼が熱心であったことをたびたび認めた。彼は今、あなたがたを非常に信頼して、ますます熱心になっている。テトスについて言えば、彼は私の仲間であり、あなたがたに対する私の協力者である。この兄弟たちについていえば、彼らは諸教会の使者、キリストの栄光である。」(コリントⅡ 8・22, 23)

このもう一人が誰であるかについても分かりません。学者はいろいろと想像しておりますが、ルカとか、マルコとか、バルナバとかいう一流の人を送っている。お金を集める仕事にパウロの最も信頼している人を送っているということは、注目すべきことでもあります。これは第3の使者の紹介であります。テトスは私の代表者のような者であり、他の二人については、マケドニアの諸教会から選ばれた教会の代表者であるという。「キリストの栄光である」という言葉は、最大級の重さの言葉です。この人を見たら、キリストが分かる、そういう人々であると言っています。

献金は、従

パウロの使者としての務めは福音を解くことでもあります。献金を集めるということは、パウロにとって従なることです。自分が行かずに3人を送ったのは、そのためであると私は信じます。パウロは福音の伝道に専念していたと見てとみてよいと思います。信仰が主です。献金問題は重大では有りますが、従ってです。教会でも、献金さえしていれば、説教を聞かなくとも、信者の義務を果たしていると思っている人がいます。そうではない。この教会では、聖日の朝の聖書講義を聞いてもらいたい。私の講義はまずいが、まずいなりに聞いていると分かるようになります。講義を聞いてから献金して下さい。献金が少なくても、教会が損をしているのではなく、献金出来ない人が損をしているのであります。損をしているのは本人です。

俗なる仕事が聖となる

パウロの人間的常識については、私はよく言い表せませんが、誠にすごいと思います。先に一人ではなく、数人の使者を送ったのもパウロの優れた知恵です。一人より複数の方が信頼を得やすい。また、献金の勧めにおいても、彼らの献金をする気持ちを信じ、感謝し、彼らの自由意思に訴えていることも、人間的常識に富んだパウロの知恵です。そして感ずることは金(かね)の問題です。金の問題は、聖にして俗です。我々の職業は俗であります、これを聖と出来ます。…俗なる仕事が如何にして聖となるかが問題です。

私の歌「主イエスと呼びて励まん今日もまた、手に来る業を御国目当てに」
「主イエスよ」呼ぶこと、主はわが救い主であると認めること、それを告白すること、これが信仰生活の全部です。そして、手に来る業、この俗な仕事が、主イエスよと呼びて、御国目当てになった時に、聖化されるのであります。それを「信仰」という。それを「信者」という。金銭の問題は、実に信仰の問題です。金銭をどう使っているかを見ると、その人の信仰が分かります。諸君、注意し給え。献金の取扱い方については、パウロは非常に注意して、一文と言えども、どう使ったかについて、3人に検査させています。…牧師自身も注意する必要があります。私の教会の予算、決算については、役員会で厳重な検討を加えています。この教会では、一円たりとも無駄に使っておりません。

10年後の感想——献金問題は信仰問題——

聖書には「与うるは受くるよりも幸いなり」というイエスの言葉がありますが、それをパウロは引用しました。「与える」ことが出来るということは、恵まれているということです。本当に献金が出来るということは、天国の信仰と、永遠の生命と深い関係があります。献金だけではない。「give」（与える事）が出来ないということは、天国の信仰がない、ということです。我々に本当に天国の信仰が与えられたら、神の意志をなすこと、即ち「give」すること、善行、己に克つことができます。

献金問題は信仰問題であります。諸君、胸に手を当ててみて下さい。献金する時に他人の献金を見たり、惜しみながら自分の小遣いの一部をちょっと献金するようでは、それは止めてもらいたい。献金には、他人の顔を見る必要はありません。献金は信仰のバロメータです。貧乏人が献金しています。金持ちはあまり献金はしません。諸君、天国の望みをどうぞ早く自分のものとしていただきたい。そして、献金が楽楽に出来るようになって頂きたい。人は金がなくとも餓死しません。心配は要りません。ストライキは暴力で金をむさぼっているようなものと私は思います。諸君、給料の上がることをそんなに心配する必要はありません。金が無くて餓死するというのは嘘です。安い給料で粗末なものを食している方が却って健康になります。